

主に平安時代から
鎌倉時代初期までの
和歌を集めた『百人一首』

現代もかるた遊びを
中心として多くの人々に
愛されています

百人一首にある和歌を
選んだのは藤原定家ふじわらのいしか

平安時代末期から
鎌倉時代に生きた歌人でした

百人一首が 誕生するまで



藤原定家は大歌人。
藤原俊成の息子として
歌道の家に生まれました

10歳の頃から歌会に参加
するなど、歌人としての
頭角を現していました

ありがけのー

おま

この子は
才能があるぞ！



しかし若い頃に宮中にて
乱闘騒ぎを起こし
なんと除籍処分…

当時宮中で
乱暴を働くことは
もつてのほかでした



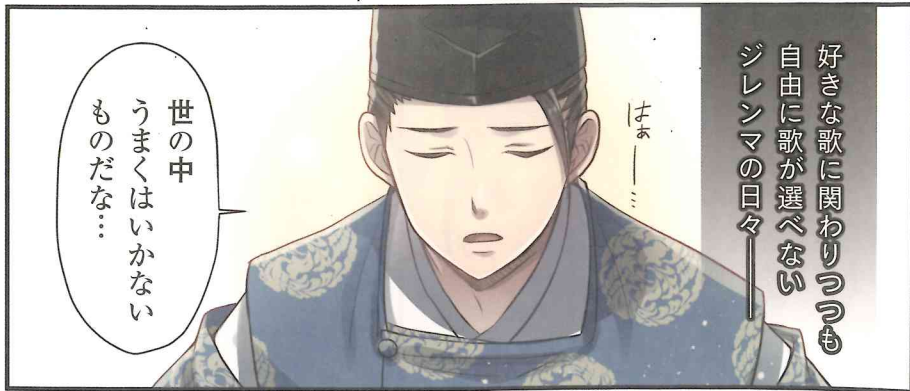
ただし翌春に父・俊成による
すばらしい歌と書が
後白河法皇の近臣に贈られ、
許されました

一体何があつて
パツンしたのさ…

本当は優しくして
いい子なんです…

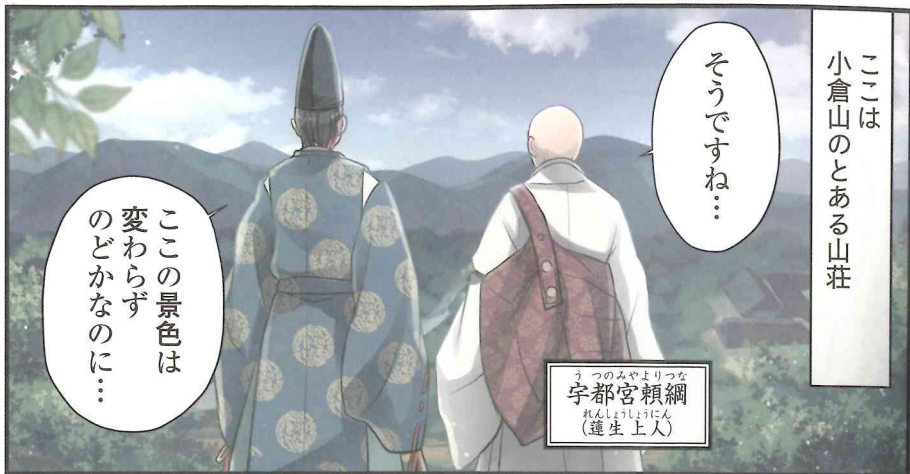
そんな定家の元に
ある出来事が…





好きな歌に関わりつつも
自由に歌が選べない
ジレンマの日々

世の中
うまくはいかない
ものだな…



ここは
小倉山とある山荘

そうですね…

この景色は
変わらず
のどかなのに…

宇都宮頼綱
(蓮生上人)



天皇・
貴族の世から
武士の世へ…

この数十年で
時代は大きく
変わっている—



後鳥羽院は俊成に
和歌を習っていたほど
和歌に熱心な人物でした



私が
後鳥羽院の元で
和歌集を…!?



その後鳥羽院の元で
『新古今和歌集』の
編さんが始まりましたが…

上皇だろうと
関係ない!

何度も選び直して…
歌人の気持ちを
考えるべき!

なんと
生意気な…
歌はうまくとも
お前は人として
なっていない!



歌を愛する者
同士ゆえか
ぶつかるふたり

そのぶつかりは次第に
大きくなり最終的には
袂を分かちました

その後『新勅撰和歌集』に
関わるも、鎌倉幕府への
配慮により満足なものが
作れませんでした

あなたの
落ち着きのなさは
変わりません
けどね…

私はただ歌を詠み
歌に触れたい
だけなんだ！

ん…？

ひとり一首で
百首くらい
でしょうか
全部あなたのセンスで
選んでいいですよ

天皇とか幕府とか
そんなものどうでも
いいんだ！
好きに
歌が詠みたい
だけなんだー！

まあ少し
落ち着いて…

いいのか!?

おもむきそつだ
勅撰集の名誉より
ずつと…!!

キラキラと輝くハジメの瞬間

あ！
では…

この別荘の
ふすまに貼る歌を
選んでみませんか？

勅撰集みたいに
名誉はありませんが…

やっぱり
恋の歌を
メインにしようかな…

秋の歌も
しみじみとして
いいなあ…



実際に
百人一首を選んだのは
70歳を過ぎてからです

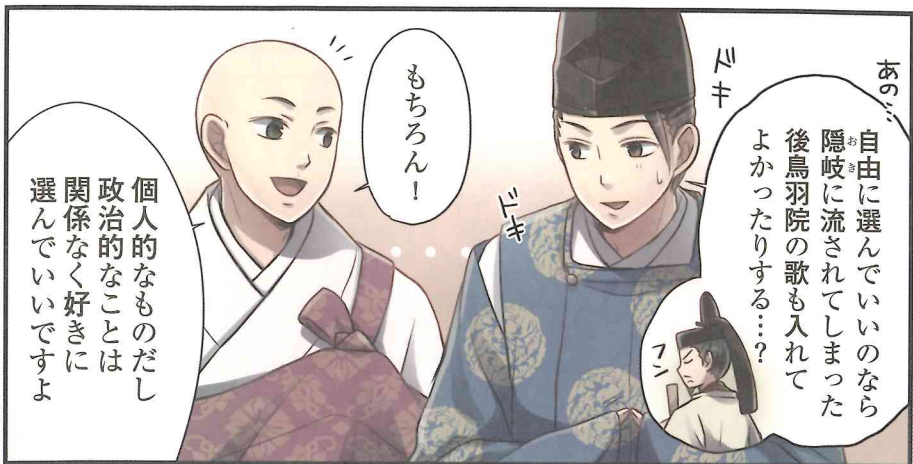
今までの私は
美化していたよ

本当にこんな会話が
あって生まれたかどうか
詳しいことも謎です



尊敬する
父に…

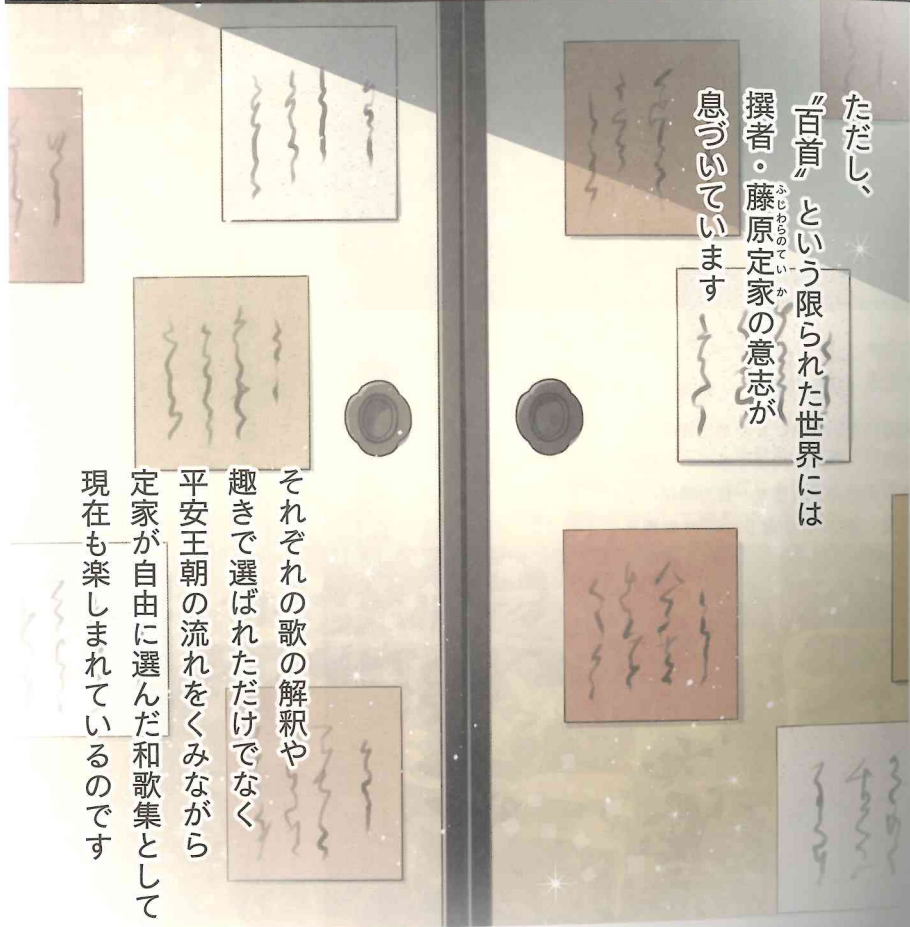
あの人の
歌も…



自由に選んでいいのなら
隠岐に流されてしまった
後鳥羽院の歌も入れて
よかったですか…?

もちろん！

個人的なものだし
政治的なことは
関係なく好きに
選んでいいですよ



ただし、
『百首』という限られた世界には
撰者・藤原定家の意志が
息づいています

それぞれの歌の解釈や
趣きで選ばれただけでなく
平安王朝の流れをくみながら
定家が自由に選んだ和歌集として
現在も楽しまれているのです



悔しいけど
歌はうまいし
入れない訳には
いかないから…

こうして小倉山にある山荘の
ふすまのために選んだ
『小倉百人一首』として
百人一首は生まれました